

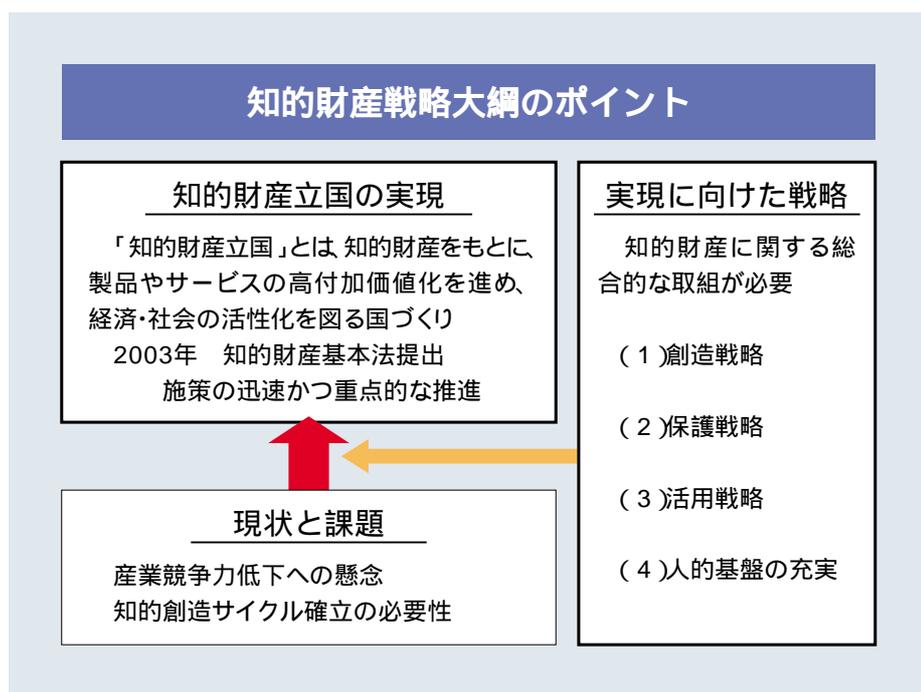
特許紹介

研究企画部 知的財産グループ

1 知的財産戦略大綱の策定について

2002年7月3日に小泉内閣により知的財産戦略大綱が策定されました。これは、日本が科学技術や文化などの幅広い分野において豊かな創造性にあふれ、その成果が産業の発展と国民生活の向上へつながっていく、世界有数の経済・社会システムを有する「知的財産立国」とするため、その目標に向けた諸改革を直ちに実行するべく、政府の基本的構想をまとめたものです。以下にその概略を示します。

当社としても、この大綱に則り、知的創造サイクルを活発化させ戦略的な知的財産を構築していきます。



知的創造サイクルとは

知的財産を生み出す仕組みを整え、知的財産を的確に評価できる環境を作り上げ、その知的財産が流通し社会で広く活用され、再投資による新たな知的財産を創造する力が生み出される。

この循環が知的創造サイクルであり、知的財産戦略大綱では知的創造サイクルを一層発展させるために、「創造戦略」「保護戦略」「活用戦略」の構築とそれを支える「人的基盤の充実」に総合的に取り組むことが明記されました。

知的財産立国に向けた重点事項

- 「世界特許」に向けた取組の強化
 - 日米での調査結果等の相互利用
 - 迅速・的確な特許審査のための計画策定
- 実質的な「特許裁判所」機能の創出
 - 特許等に関連する裁判を東京・大阪地裁に集中
- 模倣品・海賊版等の対策の強化
 - 侵害品に対する国境措置の強化
 - 外交交渉等を通じた働きかけの強化
- 営業秘密の保護強化
 - 民事・刑事両面での保護強化
- 大学の知的財産の創出、管理機能の強化
- 知的財産専門人材の養成

知的財産戦略大綱の重点事項について

知的財産戦略大綱は「知的財産立国」を目指した国家戦略であり、その重点事項は知的創造サイクルを強力に推進するための改革と位置づけられている。

2003年には「知的財産基本法(仮称)」を制定し、知的創造サイクルの活性化基本方針の確立、知的財産戦略本部(仮称)の設置、知的財産戦略計画(仮称)の策定等を規定し、具体的行動計画を定め、集中的・計画的に遂行することとしている。

2 設定登録を受けた特許(平成14年1月~2月)の紹介

以下に掲載いたしました特許に関するお問い合わせ等は、研究企画部知的財産グループをお願いします。

種別	登録番号	登録年月日	発明等の名称	当社発明者	共有権利者	当社技術主管部署
特許	3268016	2002/1/11	水力機械	下村 博明 白木 清隆 梅田 貞一	(株)東芝	本店 工務部 発電電グループ
特許	3268659	2002/1/18	超電導ブスパー	伊藤 猛 長房 利明 三澤 弘和	古河電気工業(株)	電力技術研究所 電力ネットワークグループ 超電導・新素材チーム
特許	3269840	2002/1/18	酸化物超電導導体およびその製造方法	長屋 重夫 井上 俊夫	(株)フジクラ	電力技術研究所 電力ネットワークグループ 超電導・新素材チーム
特許	3269841	2002/1/18	酸化物超電導導体およびその製造方法	長屋 重夫 井上 俊夫	(株)フジクラ	電力技術研究所 電力ネットワークグループ 超電導・新素材チーム
特許	3272119	2002/1/25	ゼオライト結晶膜の製造方法	佐治 明 野田 英智	日本碍子(株)	エネルギー応用研究所 環境技術グループ 環境・リサイクルチーム
特許	3273495	2002/2/1	シールドセグメントの耐震用可撓継手およびその施工法	木村 稔 鈴木 仁規 鈴木 一彦	鹿島建設(株)	本店 土木建築部 技術・企画グループ
特許	3273952	2002/2/1	水素ガスの漏洩を検知する方法	井上 俊夫 堺 松成 浅野 宗光	(株)アクトリサーチ	エネルギー応用研究所 環境技術グループ 化学チーム
特許	3273964	2002/2/1	簡易型雷過電流検出装置	金子 光孝 柳沢 英一 隈部 伸吾	日油技研工業(株)	電力技術研究所 お客さまネットワークグループ 配電チーム
特許	3274026	2002/2/1	超電導電力ケーブルの構造	長屋 重夫 平野 直樹	(株)フジクラ	電力技術研究所 電力ネットワークグループ 超電導・新素材チーム
特許	3276277	2002/2/8	CVD用液体原料供給装置	長屋 重夫 下之園隆明	(株)フジクラ	電力技術研究所 電力ネットワークグループ 超電導・新素材チーム

3 特許流通フェア中部2002に出展

特許流通フェア中部2002が、10月16日(水)~18日(金)に特許庁、中部経済産業局の主催で、名古屋市中小企業振興会館吹上ホールにおいて開催されました。今回はフロンティア21エレクトロニクスショー2002、産学交流テクノフロンティア2002も同時開催となり盛況なものとなりました。

当社からは「電解穿孔方法とその装置」((株)中部プラントサービス、(株)ユニケミーと共同出願)を開放特許として出展し、「医療廃棄物処理システム」の技術紹介を合わせて行いました。

また、特許流通フェアの初日には「我が国の知的財産戦略について」と題して太田特許庁長官による特別講演が開催されました。



特許流通フェアの様子



執筆者/伊藤正一
Itou.Shouichi2@chuden.co.jp